

平和運動センター通信 原水禁ヒロシマニュース

■発行：広島県平和運動センター

原水爆禁止広島県協議会（広島県原水禁）

■〒733-0013 広島市西区横川新町7-22 自治労会館 1階

■TEL:082-503-5855 FAX:082-294-4555

■E-mail:h-heiwa@chive.ocn.ne.jp

■広島県原水禁 ホームページ <http://www.hiroshimaken-gensuikin.org/>

■ブログ：<http://kokoro2016.cocolog-nifty.com/shinkokoro/>

ー子どもや孫たちに、戦争も核もない、美しい地球を！ー

No.285

2026年

7・8月号

(7月21日)

発行責任者

大瀬敬昭

(事務局長)

平和フォーラム中国ブロックが平和集会開催

平和フォーラム中国ブロックは6月13日、広島県福山市内で「平和な世界をつくるのは私たち！中国ブロック平和集会」を開催しました。集会には、オンライン参加約20人を含めて中国各県から約100人が参加しました。

集会は、中国ブロック議長の鳥越議長（岡山）が主催者を代表してあいさつしました。鳥越議長は、政府が集団的自衛権の行使容認以来、軍事費の大幅な増大や敵基地攻撃能力の保有など軍拡路線を突き進んでいること、さらには、台湾有事や米中戦争などを想定し長射程ミサイルの配備が進んでいる現状に危機感を表明するとともに、島根県雲南市に自衛隊弾薬庫の誘致計画が進められていることを紹介し、「全国的な軍事要塞化への動きが顕著になっている」と軍事増強にひた走る高市政権に警鐘をならしました。

続いてあいさつした平和フォーラムの谷雅志事務局長は、基地のある県とない県で問題意識に差があること、具体例として沖縄の基地問題を紹介し、「沖縄の問題を沖縄の人たちだけに押し付けるような構図があってはならないと言いながら、一方で私たちが日常生活の中で、どれだけ意識を持つことができているのか」と参加者に問いかけ、日頃から関心を持つことの重要性を指摘しました。

講演は、防衛庁の元官僚で2004年から2009年にかけて内閣官房副長官補を務め

《今後の主な予定》

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 7月22日(水) | 被爆者7団体 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名（平和公園） |
| 7月24日(金) | 第45回反核平和の火リレー到着（慰霊碑前） |
| 7月27日(月) | 非核平和行進・東部コース出発 |
| 7月28日(日) | 被爆81周年原水禁大会福島大会 |
| 7月30日(木) | 非核平和行進・北部コース出発 |
| 8月1日(土) | 非核平和行進・西部コース出発 |
| 8月4日～6日 | 被爆81周年原水禁大会広島大会 |
| 8月7日～9日 | 被爆81周年原水禁大会長崎大会 |
| 8月22日(土) | 世界人権宣言実行委員会学習会（福山人権交流センター） |
| 8月28日(金) | 朝鮮歌舞団60年記念ツアー公演（アステールプラザ） |

られた柳沢恭二さん。「トランプが壊す世界と日本の課題～戦争をしない国であり続けるために」とのテーマで話されました。

柳沢さんはまず、世界の情勢を分析。トランプ政権が気候変動や貧困対策など国際協力の枠組みからの離脱を始め、ベネズエラへの軍事介入やイランへの攻撃などを取り上げ、「国際法やルールを破壊している」

と厳しく指摘。その上で、抑止力に関わり日本への教訓として、次のように話されました。

「ウクライナが、『核を放棄したから侵略された』という言説がある。しかし、アメリカのイランへの攻撃から言えるのは、むしろ反撃能力があるから攻撃された。イランにしてみれば、反撃能力があって抑止できなかった。反撃能力は抑止力にはならず、敵基地攻撃能力を保有することが必ずしも抑止力にならないという教訓が示された」。

中国との関係については、トランプ大統領が習近平主席と会談し、台湾問題で一致したことで、「向こう 3 年間は台湾有事の可能性が低い」との見方が示されるとともに、日本の防衛政策への影響については、「アメリカの核の傘に依存してきたが、アメリカの地政学的立場の変化によりその信頼性が疑問視されている」と指摘。具体的には「従来の防衛政策は米軍の戦闘行為と一体化しない非戦闘地域での武力行使を前提としていたが、第二次安倍政権下で集団的自衛権の限定的容認により方針が変化した。その後の岸田政権では日米同盟の強化が象徴的に示され、南シナ海や台湾防衛での協力や共同訓練が進展し、防衛政策の目標が日本の安全から地域的な安全保障へと拡大してきた」と述べられました。

その上で、「中国との有事に日本単独で対応するのは困難。国力の限界を踏まえ、外交力の強化が不可欠であり、日本の戦争被爆国としての立場を活かした世界世論のリードが求められている」「抑止力は恐怖を与えることが本質であり、相手が恐怖を感じなければ抑止は成立しないという不確実性を持つ概念」とし、「中国、アメリカ、台湾の三者とも現状維持を望んでおり、これが台湾海峡の危機回避に最も効果的な安心供与となる。政治は戦争回避の努力を継続すべき」としました。

集会では、講演に続いて島根県平和フォーラムから、雲南市への建設が浮上している自衛隊の弾薬庫計画についての報告。そして、第 28 高校生平和大使の永戸あみさんと今年新たに選出された第 29 代高校生平和大使の岡田百加さんがそれぞれ活動報告と決意を述べました。



部落解放県共闘が就職差別撤廃へ要請行動

部落解放広島県共闘会議(県共闘)・日本労働組合総連合会広島県連合会(連合広島)は7月7日、広島県・広島県教育委員会・広島労働局に対して就職差別撤廃の要請行動

を行いました。

2026年に連合が実施した「就職差別に関する調査」の結果では、①採用試験に際し戸籍謄（抄）本の提出を求められた＝39・1％（2023年調査から8・3ポイント上昇）②応募書類やエントリーシートで本籍地や出生地に関する記入を求められた＝45・6％（2023年調査から2ポイント上昇）③面接において生活環境・家庭環境に関する質問が行われる一など部落差別につながるおそれのある実態が明らかになっています。

そこで、「部落差別の解消の推進に関する法律」等をふまえ、こどもたちが自分に責任のないことで差別を受けることがないよう、それぞれの立場での取り組みの強化を要請しました。

特に県教委には「就職試験結果報告書」の実施を要請し、実態把握に基づいて関係機関が連携し取り組みを推進することを要請しました。

要請行動には、県共闘会議から高橋克浩議長（平和運動センター）、白井秀治副議長（連合広島）、平賀伸一副議長（広島教組）、大宮弘子副議長（解放同盟）、頼信直枝事務局長（広島教組）が参加し、倉田庸子・県雇用労働政策課課長、松田公志県教委総務課秘書広報室長、松村吉朗広島労働局職業対策課長らが対応しました。

報告＝部落解放同盟 大宮弘子さん



広島労働局で松村職業対策課長（左）に要請書を手渡す高橋県共闘議長

第45回反核平和の火リレーが出発

広島県平和友好祭実行委員会が取り組む、第45回反核平和の火リレーが7月6日、広島市平和公園を出発しました。

あいにくの雨となったため、出発式は原爆資料館下で行われました。

高橋克浩県平和運動センター議長と県被団協の熊田哲治事務局長が激励のあいさつを行い、県実行委員会の辻大輝さんがランナーを代表して決意を表明しました。

第一走者は原爆投下時刻である8時15分、平和公園を出発しました。リレーは県内の全市町を走破し、7月24日に再び平和公園に到着する予定です。



被爆81周年原水爆禁止世界大会 日程表

2026/7/9現在

【広島大会行事】

月日 (曜日)	時間	企画・行事等の名称		定員	会場	住所	TEL
8月 3～4日		代表登録① 8月3日(月)13:00～17:00／8月4日(火)9:30～12:00		代表者	自治労会館3F大会事務局	広島市西区横川新町7-22	03-5289-8224 (転送)
		代表登録② 8月4日(火)14:00～17:00		代表者	広島県立総合体育館小会議室	広島市中区基町4-1	03-5289-8224 (転送)
8月4日 (火)	13:30 ～ 15:00	運営会議(全国代表・運営委員・地元実行委員)		関係者	自治労会館3F大会議室	広島市西区横川新町7-22	03-5289-8224 (転送)
	15:40 ～ 17:00	折鶴平和行進 ※15:50平和公園集合／16:00出発／17:00到着		全員	平和公園 ～県立総合体育館	広島市中区中島町1 広島市中区基町4-1	082-228-1111
	17:00 ～ 18:30	被爆81周年原水爆禁止世界大会・広島大会 開会総会		全員	広島県立総合体育館大アリーナ	広島市中区基町4-1	082-228-1111
8月5日 (水) 午前	9:30 ～ 12:30	分 科 会	① 平和と核軍縮Ⅰー世界の核軍縮	280	広島YMCA本館地下1F 国際文化ホール	広島市中区八丁堀7-11	082-227-6816
	9:30 ～ 12:30		② 平和と核軍縮Ⅱー日本国内の情勢	180	RCC文化センター7F	広島市中区橋本町5-11	082-222-2277
	9:30 ～ 12:30		③ 脱原発ー脱原発の実現に向けて	120	広島YMCA2号館地下1F コンベンションホール	広島市中区八丁堀7-11	082-227-6816
	9:30 ～ 12:30		④ ヒバクシャⅠー被爆者の残された課題	120	ワークピア広島4F「芙蓉」	広島市南区金屋町1-17	082-261-8131
	9:30 ～ 12:30		⑤ ヒバクシャⅡー世界のヒバクシャ	100	ワークピア広島3F「蘭」	広島市南区金屋町1-17	082-261-8131
	9:30 ～ 12:30		⑥ 見て・聞いて・学ぼうヒロシマ	500	広島県民文化センター 多目的ホール	広島市中区大手町1-5-3	082-245-2311
	9:30 ～ 12:30		⑦ 特別分科会「カタリバ2026」	50	ワークピア広島2F「桜」	広島市南区金屋町1-17	082-261-8131
8月5日 (水) 午後	14:00 ～ 16:30	ひろ ば・ フイ ールド ワー ーク	⑧ ヒバクを許さないついで Part25	180	RCC文化センター7F	広島市中区橋本町5-11	082-222-2277
	14:00 ～ 16:30		⑨ 女性のひろば 講師:上野勢以子さん 「語り継ぐ原爆・平和～被爆二世の一人として～」	100	ワークピア広島3F「蘭」	広島市南区金屋町1-17	082-261-8131
	14:00 ～ 16:30		⑩ 上関原発・中間貯蔵施設を考えるついで	120	広島YMCA2号館地下1F コンベンションホール	広島市中区八丁堀7-11	082-227-6816
	14:00 ～ 16:30		⑪ 話芸で学ぶ「平和と核」 落語:古今亭菊千代／漫才:おしどりマコ・ケン	280	広島YMCA本館地下1F 国際文化ホール	広島市中区八丁堀7-11	082-227-6816
8月5日 (水) 全日	7:15 ～ 17:30		⑫ パスツアー大久野島「ヒロシマと戦争」 ※参加費8000円(弁当・お茶、保険料込み)	120	7:15平和公園資料館前集合	広島市中区中島町1	
	7:45 ～ 16:30		⑬ 安野発電所「中国人強制連行・中国人被爆の歴史を歩く」 ※参加費6000円(弁当・お茶、保険料込み)	20	7:45平和公園資料館前集合	広島市中区中島町1	
8月6日 (木)	9:00 ～ 10:30	国際シンポジウム(同時通訳あり) ※同時通訳装置使用料1000円		500	広島県民文化センター 多目的ホール	広島市中区大手町1-5-3	082-245-2311
	10:30 ～ 11:00	被爆81周年原水爆禁止世界大会・広島大会 まとめ集会		500	広島県民文化センター 多目的ホール	広島市中区大手町1-5-3	082-245-2311

●若者・子ども関連行事 ※要申込

8月5日 (水)	8:30 ～ 11:40	⑭ a	子どものひろば(平和公園フィールドワーク・被爆電車)	要申込	平和公園原爆供養塔前 ～メルパルク広島5F「桜」	広島市中区中島町1	
	14:00 ～ 16:30	⑭ b	子どものひろば(大学生によるワークショップ型企画)	要申込	ワークピア広島4F「芙蓉」	広島市南区金屋町1-17	082-261-8131

●関連行事

8月5日 (水)	16:00 ～ 18:00	連合2026平和ヒロシマ集会(連合主催／原水禁・KAKKIN共催)		2000	広島上野学園ホール	広島市中区白鳥北町19-1	
8月6日 (木)	8:00 ～ 8:40	広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式(広島市主催)			平和公園慰霊塔前	広島市中区中島町1	